

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：大場勝雄 幹事：桜井健太郎

情報委員長：米沢修一

1981・8月20日 第197号

“中国の自由市場は花盛り”

日中教育友好協会会長

木村 正氏



5年前訪中の折、西安近くの人民公社を訪れ自留地なるものを見た。それは自分の家の廻りに採れる作物は自分達で自由に食べる事が出来る土地であった。昨年にはその作物は売買も可能となっていたのである。それは人民公社の耕地全体の3%であったがそれが年毎に5%～15%へと拡大されて来ている。

その理由として農民の都市への流出等の説明があるにせよ私は中国の農業政策、経済政策の基本にかかわる問題としてとらえて見る必要があると思う。現に一昨年春、中国の経済全体を発展させるには中国人民一人一人のエネルギーを組織化する必要あり、その為には自留地は必要かくべからざるものであるとの論文と指示があったのを思い起す。

今、中国では自由市場はどこでも見受けられる。これと並行して都市においても個人企業、株式会社組織が進行し、その数50,000以上となっている。これは資本主義経済へ逆戻りしているのではとの一部観測もあるが私は基本的に社会主義体制をとった上で、ある一定のパーセンテージを全体のバランスを見ながらコントロールしている状態と判断している。

自由と平等を同時に進行させていくことは具体的には経済生活の中にその政策が出てはじめて成り立つとすれば、その問題を中国は社会主義の中で自由をどこまで拡大出来るかが一つのカギと見ている。その意味で中国の自留地の問題はたとえそれが0.01%であったとしても大きな意味がある。

資本主義体制の下で自由の中にどれだけ社会的制度を打ち込めるかが問題となっている時、論としてそれを認め政策として実施し原則的に自留地を残すとすればそこに新しい方法の経済論を生みだす着目点を中国は置いている様に私は思うのである。

—金沢北RC例会講話から— (文責 米沢修一)

私 の 名 刺

中 西 利 男



此の度、土原先生からの御推薦により私のようなものが、名誉ある金沢北ロータリークラブに入会の御縁を賜わりただ感激の念にたえません。

当クラブ先輩の皆様方に感謝のお礼をのべると共に、今後若輩なる私に何分とも御指導を賜ります様、伏して御願ひ申し上げます。さて、私は金沢の北端で生れ、その地で育ち、今は兄（現社長）と共に経営するショッピングセンターと食品を主体としたスーパーマーケットの専務職に在籍いたしております。

ふりかえれば、子供の頃は戦中戦後の物資のとぼしい時代に育ち高校は旧制中学と新制高校の移りかわった時でもありました。

卒業後は三男ではありましたが、今は亡き父と共に近郷の農家から青果物の買付と市場への仲卸を業とした家業を学びながら、現在の食品販売の世界に入ったわけでありました。当時は、棒ハンドルの三輪で荷を運んだものです。長い道のりもときには、背中にしょっての商いでもありました。それが町の八百屋として出発し、やがて時の移りと日本経済の高度成長と共に、消費者の食生活もかわり、総合食品の販売へと移り、規模もセルフ形態をいち早く採用、そして現在の総合食品スーパーとして変化してまいりました。

その間、仕入から販売管理とただひたすら地域の方々と共に、又協力を得ながら食生活の改善に消費者の立場になってその向上に努めてまいりました。

最近では、消費の動向変化に対応すべく、いかにお客様におこたえして地域社会に奉仕するかが大きな課題でもあります。今日まで幸いにも多くの方々との出会いがあり、世間の尊い御指導があったからこそ今日の自分が存在している事に感謝しております。

しかし、厳しい時期に入って内面だけでの体験で広く世間を見いるとき、まだまだ“井の中の蛙大海を知らず”でロータリーに入会を許され、心新たにするものです。どうか諸先輩方皆様様の集いの中で、ロータリアンとしての精神を怠りない様努力いたします故、何分の御指導を賜ります様重ねて御願ひ申し上げます。



ロータリーニュース

国際奉仕委員会炉辺会合開催

さる7月30日(木)、ホワイトハウス和室に於て、今年度の国際奉仕委員会炉辺会合が催された。会長、幹事、委員会メンバー及び新入会員2名を交えて、当面する親善交歓少年サッカーチームの韓国派遣に関する具体的な問題、又今回の交歓試合に全面的な協力を惜しまなかった。又当北RCに対して極めて熱烈な友情を捧げてくれた、韓国南光州RC(第367地区)との友好維持の問題について折衝にあたった関係者より具体的な経過報告があり、サッカーチームの少年達も希望に胸ふくらませている現状の説明があった。又、今年度もRI財団及び米山基金に対して、会員各位の御理解ある全面的協力をお願いすると共に、ポールハリス準フェローの継続的積立ての再開を必ず実行して頂くことを申し合せた。又既に友好親善提携を確立している、米国ヨーバ・リンダクラブとの交流再開を小規模な形から前進させ続けることを期した。又、新入会員よりの、職業分類に応じた経済トピックスや世界的な展望などについて極めて興味深く有意義な説話がとび出し、一同、熱心に聴講して、国際委員会ならでわの、本年度RIのターゲットにフィットした素晴らしい会合を持つことが出来たことを、幸せに感じています。折しも当日は、派遣サッカーチームの結団式が例会終了後と行われたこともあり、当委員会としては非常に活動的な一日でありました。

(飯野記)

新入会員紹介



春 田 義 正 仏教

泉龍寺住職 大樋町6-11

TEL 52-3098

会員番号 77 夫人 孝子 趣味 旅行
 入会 1981(昭56) 7 長男 神静 音楽
 誕生 1918(大7) 8-11 読書
 結婚 1945(昭20) 2-9
 所属委員会 親睦 推薦者 土原一二・越野民男



高 島 菊 丸 警備保障

日本海警備保障(株)副社長 北町 6
 畝田町卜77

TEL 21-1321

TEL 67-1784

会員番号 78 夫人 富子 趣味 剣道
 入会 1981(昭56) 7 父 静
 誕生 1945(昭20) 4-7 長男 由勝
 結婚 1968(昭43) 11-3 長女 由香里
 所属委員会 親睦 推薦者 木下和吉・増江泰

7 月 例 会 出 席 状 況

出席率 98.62%

会員名	月日	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	7月	会員名	月日	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	7月
浅田豊久	田弘明	○	○	○	M	○	◎	落合義彦	大場勝雄	○	M	M	○	○	◎
浅野弘	島敬識	M	M	M	○	M	◎	大岡村林	村田太郎	○	○	○	○	○	◎
出正木	田正義	○	○	○	○	○	◎	桜井健太郎	田哲夫	○	○	○	M	○	◎
春田田	田義正	/	/	/	/	○	◎	沢田健太郎	田三郎	○	M	M	M	M	◎
長谷川	川塑人	○	○	○	○	○	◎	柴田三	清水明	○	○	○	○	○	◎
橋場幸	場信一	M	M	○	○	欠	×	清下水	村義明	○	M	○	○	○	◎
平尾美	江他夫人	○	○	○	○	○	◎	下塩村喜代	村透次	○	○	○	M	○	◎
本市川	川健志	○	○	○	○	○	◎	塩鈴木厚	庄菊丸	○	○	M	M	M	◎
飯池丸	島乙干	○	○	○	○	○	◎	高田高	田中山	M	/	/	/	○	◎
石磯丸	貝貞次	○	○	○	○	○	◎	高田中	山靖松	/	/	/	/	○	◎
上笠	間恒	○	○	○	○	○	◎	田中	外代吉	M	○	○	○	○	◎
笠木	間光	○	M	M	M	M	◎	依土原	一栄	○	○	○	○	○	◎
木下林	林和隆	○	○	○	○	○	◎	土釣佃	见一	○	○	○	○	○	◎
小間井	井宏	○	○	○	○	○	◎	上田住	一忠	○	M	○	○	○	◎
小野民	守男	○	○	○	○	○	◎	若野岸	三与	○	○	○	○	○	◎
小杉善	善	○	○	M	M	M	◎	山山上	啓繁	○	○	○	○	M	◎
小增江	岡千	○	○	○	○	○	◎	山米米	米由	○	M	○	○	○	◎
本宗田	市太郎	○	○	○	○	○	◎	米由吉	井山	○	○	○	M	M	◎
中村省	利	○	○	○	○	○	◎			○	M	○	○	○	◎
中村西	利	○	○	M	○	○	◎			○	○	○	○	○	◎

